

【脳卒中発症時のリハビリテーション】

- ・医師の指示のもと、全身状態に応じて開始します。
- ・なるべく早期に、立位・歩行練習をすることが大切であると言われています。

【長下肢装具って？】

- ・脳卒中による麻痺があり、自分で足を支えられない人が、立位・歩行練習をするために用います。
- ・担当理学療法士が運動機能を評価し、主治医指示のもと装具作製を検討します。
- ・装具を使用することで、早期から立位・歩行練習ができ、麻痺の改善や歩行能力向上などの効果が期待できます。



【どうして本人用を作製するの？】

- ・個々の身体に適応したものを使用することで治療効果がより高まります。
- ・また練習時間も増えます。
- ・個人の作製を希望されない場合、備用品装具で対応することも可能です。

【どう使うの？】

- ・担当セラピストが、介助をしながら、立位・歩行練習をたくさん行います。
- ・回復に応じて徐々に練習の難易度を上げていきます。



【作製の流れ】

主治医が作製の必要性を判断



患者様・ご家族様の意向確認



業者が来院して採寸、発注



1週間程度の納品
その後、お支払い

となります。

【費用はどうなるの？】

- ・作製にあたって、費用がかかります（20～25万円）。
- ・納品後、装具作製業者に全額立替払いをしていただきます。
- ・装具は、治療にかかわるものなので、医療保険の適用になります。
- ・さらに高額療養費の合算対象にすることができ、手続きをすることで多くの金額が返還されます（その方の所得などに応じて、金額は若干異なります）。

何かご不明な点があれば、
担当理学療法士に
お気軽におたずねください。

宇都宮記念病院
リハビリテーション科
TEL：028-611-5617

すべては患者様のために。
すべては地域のために。